



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 ダイキョーニシカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4246 URL <http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 徹
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経営本部長 (氏名) 河崎 広 (TEL) 082-885-9979
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	31,440	33.9	2,465	36.2	2,367	31.1	1,500	40.2
26年3月期第1四半期	23,475	—	1,809	—	1,806	—	1,070	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,238百万円(△46.3%) 26年3月期第1四半期 2,304百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	82.93	—
26年3月期第1四半期	72.36	—

(注) 当社は、平成26年1月9日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	102,557	37,336	35.0
26年3月期	98,635	36,842	36.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 35,915百万円 26年3月期 35,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	39.00	39.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	60,000	22.3	3,800	3.0	3,600	△0.1	2,000	△4.6	110.53
通期	118,000	8.7	8,700	9.7	8,300	5.1	5,000	15.1	276.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	18,094,100株	26年3月期	18,094,100株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	18,094,100株	26年3月期1Q	14,794,100株

(注) 当社は、平成26年1月9日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）の連結業績は、売上高につきましては主要販売先からの受注増に加え、新製品の量産を開始した国内子会社（平成25年9月量産開始）及びメキシコ子会社（平成26年1月量産開始）の売上寄与等により、前年同期に比べ7,964百万円（33.9%）増の31,440百万円となりました。

一方利益面につきましては、国内での新製品の量産準備費用やメキシコ子会社の本格稼働による費用の増加等もありましたが、増収要因に加えコスト低減効果等により、営業利益は前年同期に比べ656百万円（36.2%）増の2,465百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期に比べ561百万円（31.1%）増の2,367百万円となりました。四半期純利益は前年同期に比べ430百万円（40.2%）増の1,500百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（国内）

主要販売先からの受注増や国内子会社において平成25年9月より量産を開始した新製品の売上寄与等により、売上高は前年同期に比べ4,677百万円（21.7%）増の26,268百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ559百万円（30.0%）増の2,420百万円となりました。

（海外）

メキシコ子会社において平成26年1月より量産を開始した新製品の売上寄与等により、売上高は前年同期に比べ3,211百万円（128.3%）増の5,715百万円となりました。セグメント損失（営業損失）は83百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べ3,922百万円（4.0%）増加し、102,557百万円となりました。主な要因は、有形固定資産とメキシコ子会社における売掛金等が増加した一方で、棚卸資産が減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ3,428百万円（5.5%）増加し、65,220百万円となりました。主な要因は、メキシコ子会社における買掛金と国内の未払費用等が増加した一方で、未払法人税等などが減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ493百万円（1.3%）増加し、37,336百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、主要販売先からの受注増や新製品の量産を開始した子会社の売上寄与等に加え、コスト低減効果等により、前回発表の業績予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、今後の各地域の事業環境が引き続き不透明であることから、前回発表の業績予想を据え置くことといたします。

(第2四半期累計)

	前回 (A)	今回 (B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高 (百万円)	55,000	60,000	5,000	9.1%
営業利益 (百万円)	3,300	3,800	500	15.2%
経常利益 (百万円)	3,000	3,600	600	20.0%
四半期純利益 (百万円)	1,600	2,000	400	25.0%
1株当たり四半期純利益 (円 銭)	88.43	110.53	—	—

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営などの内外の状況変化により、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が422百万円増加し、利益剰余金が272百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,708	20,327
受取手形及び売掛金	20,185	22,424
商品及び製品	1,349	749
仕掛品	309	385
原材料及び貯蔵品	1,620	1,639
繰延税金資産	1,120	1,081
未収入金	429	344
その他	1,587	1,175
貸倒引当金	△49	△39
流動資産合計	47,261	48,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,942	9,952
機械装置及び運搬具(純額)	10,232	10,054
工具、器具及び備品(純額)	1,146	1,248
土地	10,923	10,918
リース資産(純額)	4,987	5,472
建設仮勘定	7,133	9,835
有形固定資産合計	44,365	47,482
無形固定資産		
のれん	177	154
その他	1,160	1,104
無形固定資産合計	1,337	1,259
投資その他の資産		
投資有価証券	2,900	2,862
長期貸付金	834	778
長期前払費用	938	885
繰延税金資産	857	1,070
その他	151	142
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	5,670	5,727
固定資産合計	51,373	54,469
資産合計	98,635	102,557

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,556	26,402
短期借入金	5,561	5,170
1年内返済予定の長期借入金	1,668	2,216
リース債務	2,752	3,048
未払金	4,951	5,576
未払費用	767	2,182
未払法人税等	3,459	881
賞与引当金	1,456	728
製品保証引当金	202	189
設備関係支払手形	1,037	2,149
その他	527	678
流動負債合計	46,941	49,225
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	7,320	7,892
リース債務	2,365	2,570
退職給付に係る負債	3,603	3,952
役員退職慰労引当金	120	130
資産除去債務	130	131
その他	310	318
固定負債合計	14,850	15,994
負債合計	61,792	65,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,385	4,385
資本剰余金	9,795	9,795
利益剰余金	18,737	19,259
株主資本合計	32,918	33,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	630	671
為替換算調整勘定	1,969	1,707
退職給付に係る調整累計額	132	95
その他の包括利益累計額合計	2,732	2,475
少数株主持分	1,192	1,420
純資産合計	36,842	37,336
負債純資産合計	98,635	102,557

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	23,475	31,440
売上原価	19,920	27,138
売上総利益	3,554	4,301
販売費及び一般管理費	1,745	1,835
営業利益	1,809	2,465
営業外収益		
受取利息	20	25
受取配当金	0	4
為替差益	129	—
補助金収入	9	108
その他	73	32
営業外収益合計	233	170
営業外費用		
支払利息	97	114
持分法による投資損失	3	10
シンジケートローン手数料	74	56
為替差損	—	71
その他	61	16
営業外費用合計	237	269
経常利益	1,806	2,367
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	16	46
特別損失合計	16	46
税金等調整前四半期純利益	1,792	2,320
法人税等	808	787
少数株主損益調整前四半期純利益	984	1,533
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△86	32
四半期純利益	1,070	1,500

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	984	1,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	41
為替換算調整勘定	995	△242
退職給付に係る調整額	—	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	72	△61
その他の包括利益合計	1,320	△295
四半期包括利益	2,304	1,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,321	1,243
少数株主に係る四半期包括利益	△17	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	国内	海外	
売上高			
外部顧客への売上高	21,329	2,145	23,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	261	358	619
計	21,591	2,504	24,095
セグメント利益又は損失(△)	1,861	△37	1,823

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,823
セグメント間取引消去	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	1,809

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	国内	海外	
売上高			
外部顧客への売上高	26,098	5,341	31,440
セグメント間の内部売上高又は振替高	170	373	544
計	26,268	5,715	31,984
セグメント利益又は損失(△)	2,420	△83	2,336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,336
セグメント間取引消去	129
四半期連結損益計算書の営業利益	2,465